

ダイサギ（サギ科） 全長 88～98 センチ

いつものウォーキングコースになっている農道の脇に、大きなコンクリート製の水路が通っている。

12月4日、真っ白いダイサギが20数羽も水路の中であごめいていた。体が大きいので、双眼鏡で行動がはっきりと確認できたが、なぜこんな狭苦しい場所に大勢が集まるのでしょうか。水深は10センチくらいしかない浅瀬である。

以前この前を通った時に、小魚が群れで泳いでいたことから、魚が目当てであろう。



上空から次々とダイサギがやってきた。

水路の流れはほとんどありません。上流がせき止められたことにより、浅瀬に閉じ込められた小魚を狙っていたのでしょうか。近年、ダイサギは少しずつ増えているように思われます。

神宮寺岳見橋の下流に、サギ類の集団繁殖地（コロニー）があります。ここで繁殖するサギは、アオサギとゴイサギが殆どでしたが、数年前からダイサギが加わると年々数を増やし、一番多かったアオサギを上回るほどになった。ここで繁殖したダイサギではないだろうか。



水路を目指して飛び込んでいった。



深い水路に集中して集まってきた。

河川や沼、田んぼの水路などに普通に見られるダイサギですが、せいぜい1羽から数羽の数である。

20羽以上が1か所に集中しているのを観察したのは、玉川の中洲の近くでアオサギとダイサギ、カワウが餌とり合戦していた時以来である。

この水路は、冬を前にして願ってもない餌場でしょう。翌日には食べつくしたのか、姿が見えなくなりました。



水路から一斉に飛び出す。



何かに警戒したのか水路から飛び去った。